

江戸衣装

その世界と描写

江戸衣装の変遷は、流行に挑戦する女性たちの歴史

江戸衣装考証家であると同時に日本画家としてもご活躍の菊地ひと美さんを講師にお招きし、江戸の人々の着物や髪形の移り変わりを時代別・男女別・身分別にわかりやすくご紹介いただきます。ご自身の作品を描く際の時代考証の秘訣についてもお話しいただく予定です。



講師
Hitomi Kikuchi 菊地 ひと美
江戸衣装考証家・日本画家

衣装デザイナーを経て早稲田大学で学び、江戸にまつわる著作活動に入る。2002年から始まった日本橋再開発に作品が起用され、江戸東京博物館正門前の外通路には、この作品の拡大版が展示されている。また、菊地ひと美の画号で活動する古典やまと絵の画家でもあり、2004年に国立劇場の依頼を受けて描いた『伝統芸能絵巻』全4巻は、ローマ・ブダペストの国立美術館で展覧された。2008年には、丸善・丸の内本店にて同絵巻の国内初披露を含む個展を開催。著書に『江戸衣装図鑑』江戸の暮らし図鑑 女性たちの日常』（東京堂出版）『イラストで見る 花の大江戸風俗案内』（新潮文庫）等がある。

平成27年 **3月4日** (水)

(開場・受付開始 13:30) **14:00→15:30**

入場無料・定員150名(事前申込不要)

文化学園大学 新都心キャンパス **C101教室**(C館10階)

【お問合せ】文化学園大学 和装文化研究所 (E-mail:bfri@bunka.ac.jp)

